

クリヤマホールディングス株式会社

2021年12月期 中間決算説明会

(東証二部:3355)



1. 2021年度 中間連結業績概要
2. 2021年度 通期見通し
3. 事業戦略

2021年度 中間連結業績概要

連結決算の概要

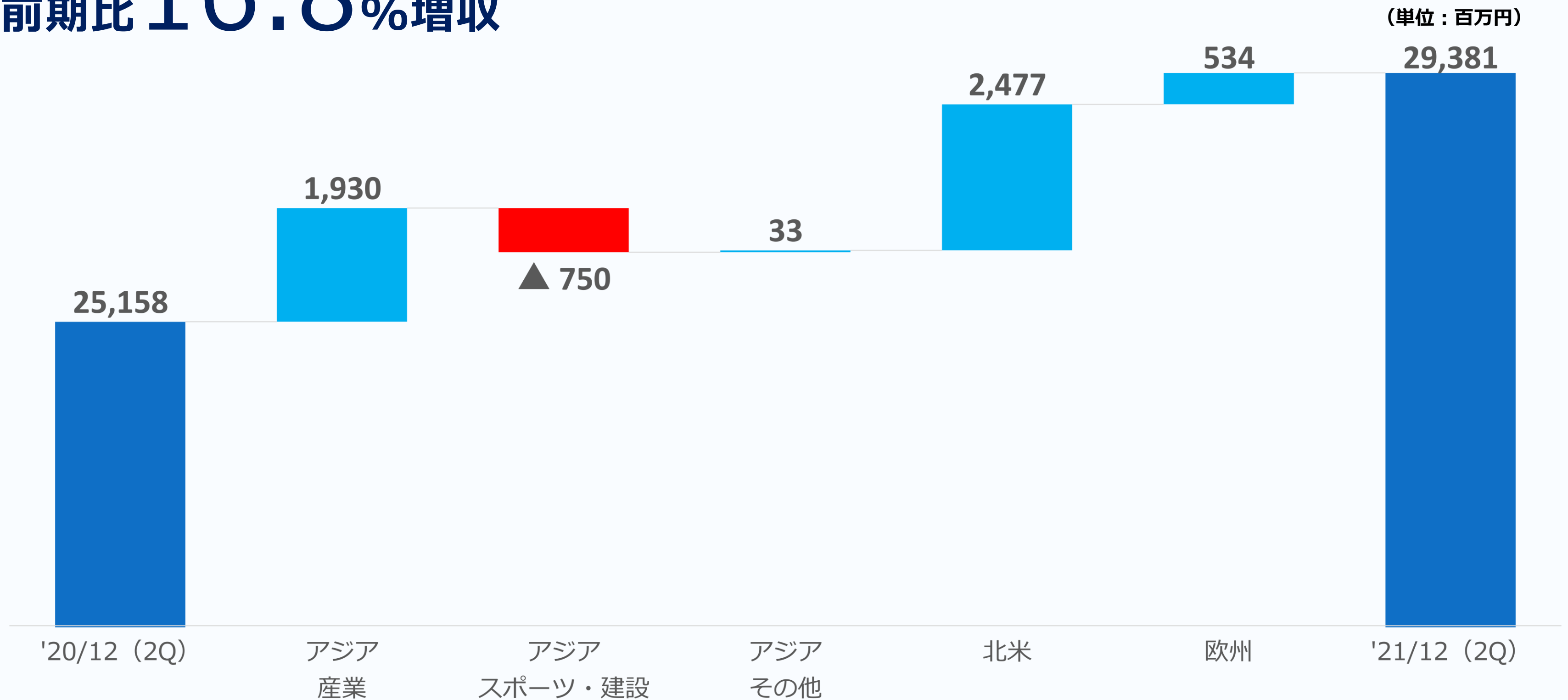


(単位：百万円)

項目		2020年12月期 第2四半期累計	2021年12月期 第2四半期累計	前年同期比 増減額	
				前期比(%)	
売上高		25,158	29,381	4,223	16.8
営業利益		1,409	2,371	962	68.3
経常利益		1,680	2,655	975	58.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,178	1,884	706	59.9
設備投資額		1,205	622	▲ 583	▲ 48.4
減価償却費		728	589	▲ 139	▲ 19.1
ROE		5.4%	7.8%		
ROA		3.6%	5.6%		
為替レート (期中平均)	USドル	108.24	108.45		
	カナダドル	79.10	86.98		
	ユーロ	119.40	130.46		
	中国元	15.32	16.76		

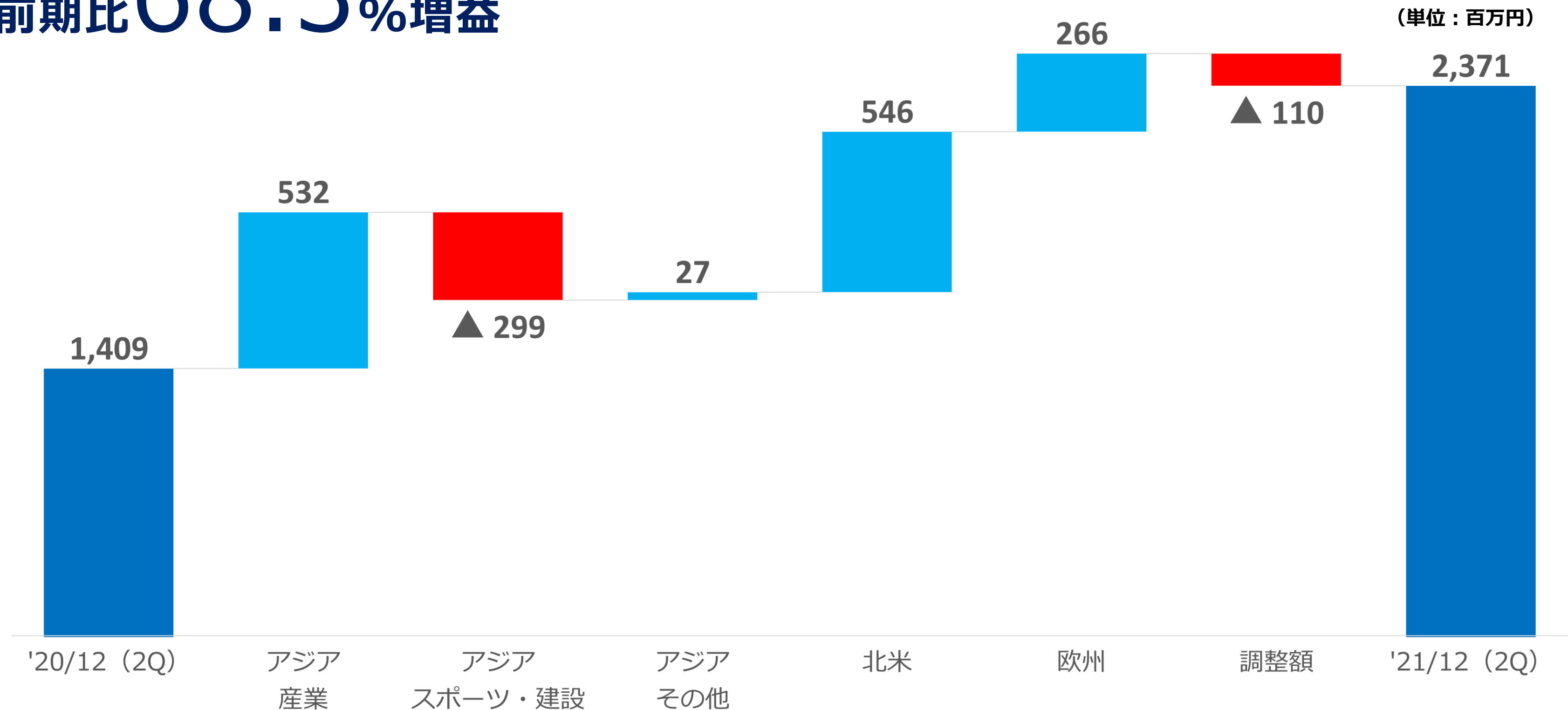
売上高増減要因

■ 前期比 **16.8%** 増収



営業利益増減要因

■ 前期比 **68.3%** 増益

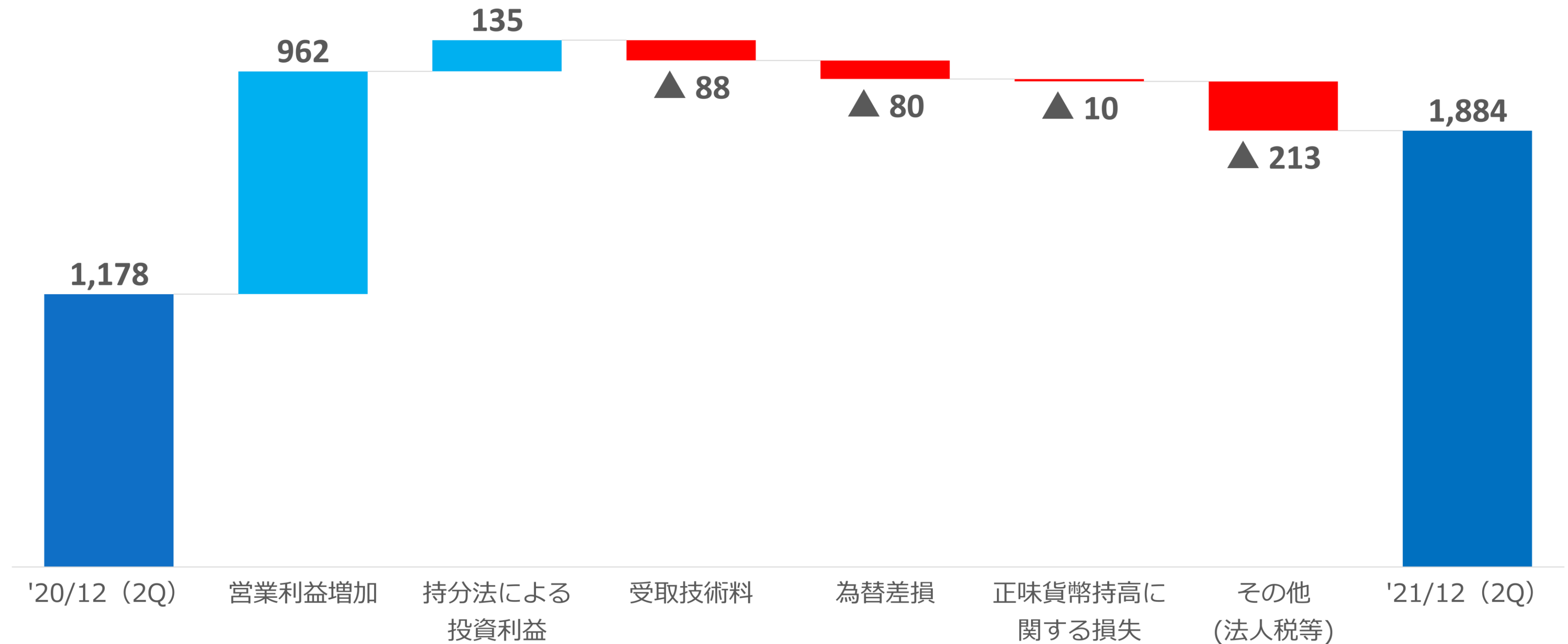


当期利益増減要因



■ 前期比 **59.9%** 増益

(単位：百万円)



セグメント別売上高・営業利益



■ アジア、北米事業が過去最高収益、欧州事業は黒字化

(単位：百万円)

セグメント別		2020年 2Q累計実績	2021年 2Q累計実績	前年同期比 増減	前期比(%)	
アジア事業	売上高	12,895	14,107	1,212	9.4	
	営業利益	1,365	1,624	259	19.0	
	産業資材	売上高	7,244	9,174	1,930	26.6
		営業利益	914	1,446	532	58.2
	スポーツ・ 建設資材	売上高	5,392	4,642	▲ 750	▲ 13.9
		営業利益	524	225	▲ 299	▲ 57.1
	その他	売上高	258	289	31	12.0
		営業利益	▲ 73	▲ 46	27	-
北米事業	売上高	10,736	13,213	2,477	23.1	
	営業利益	511	1,057	546	106.9	
欧州事業	売上高	1,526	2,060	534	35.0	
	営業利益	▲ 97	169	266	-	
連結	売上高	25,158	29,381	4,223	16.8	
	営業利益	1,409	2,371	962	68.3	

※全社費用は上記に表示しておりません

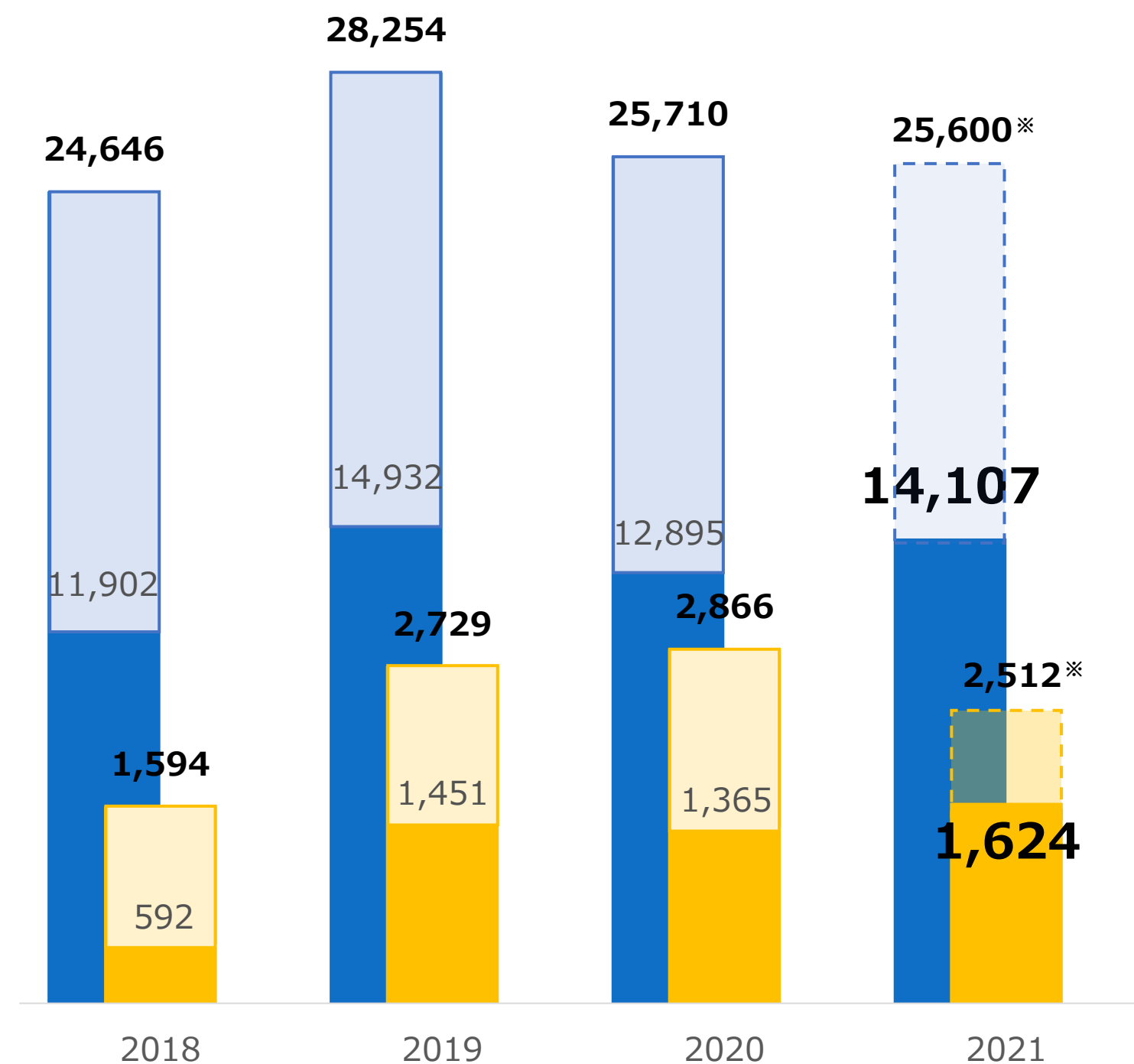
アジア事業の概況



■売上高・営業利益

(単位：百万円)

■売上高 ■営業利益



(※は通期予想値)

売上高
141億円

(前年同期比 9.4%増)

営業利益
16億円

(前年同期比 19.0%増)

事業別動向

- 産業資材は建機・農機メーカーの生産台数が高水準を維持したため尿素SCR用モジュール・タンク等の販売が好調なことに加え、中国における公共投資の拡大により建機メーカーの増産が続き、中国子会社の販売が好調
- スポーツ・建設資材におけるスポーツ床材は好調ながらも鉄道施設および大型商業施設向け床材が低調なため販売が減少

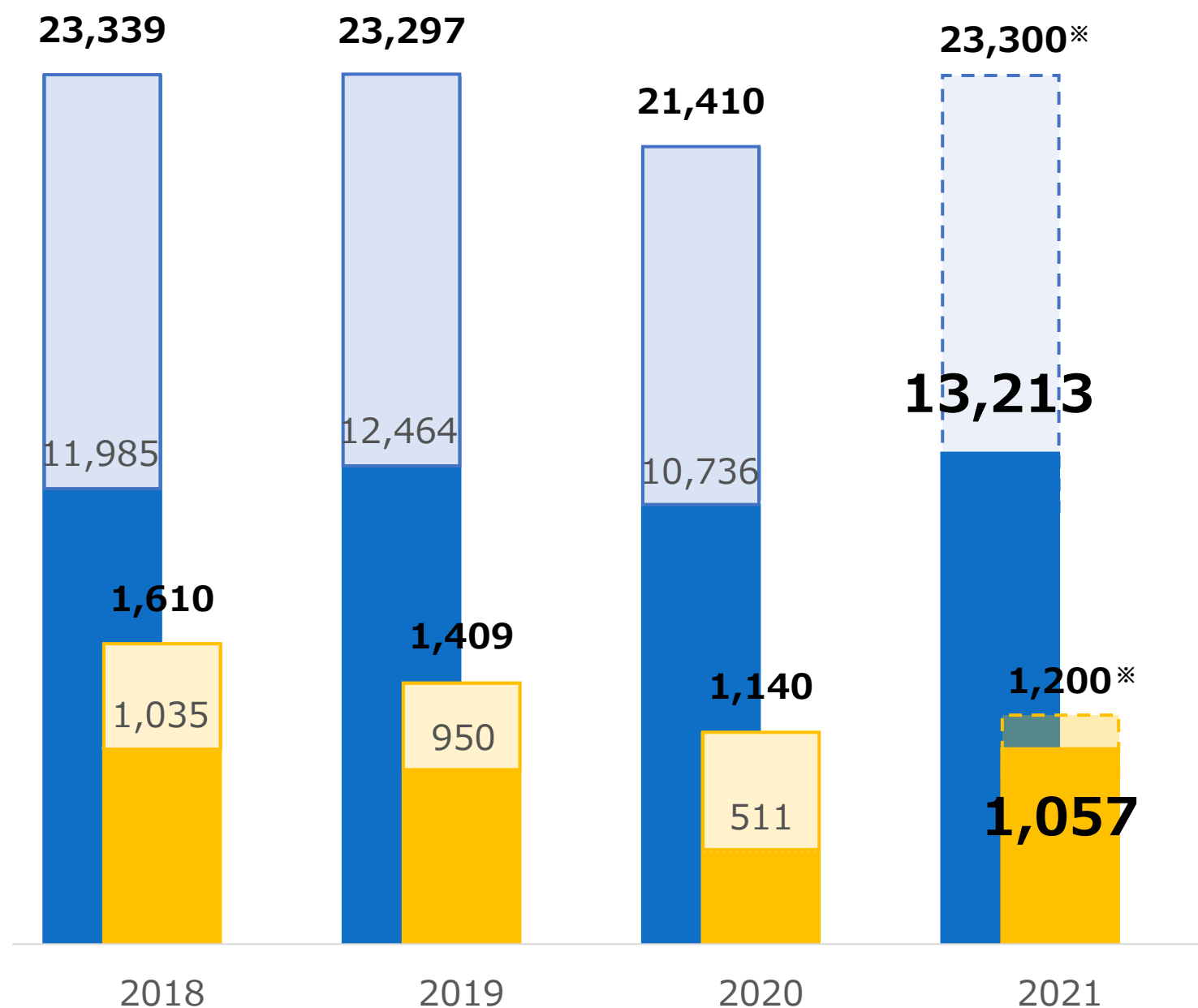
北米事業の概況



■売上高・営業利益

(単位：百万円)

■売上高 ■営業利益



(※は通期予想値)

売上高
132億円

(前年同期比 23.1%増)

営業利益
10億円

(前年同期比 106.9%増)

業界別動向

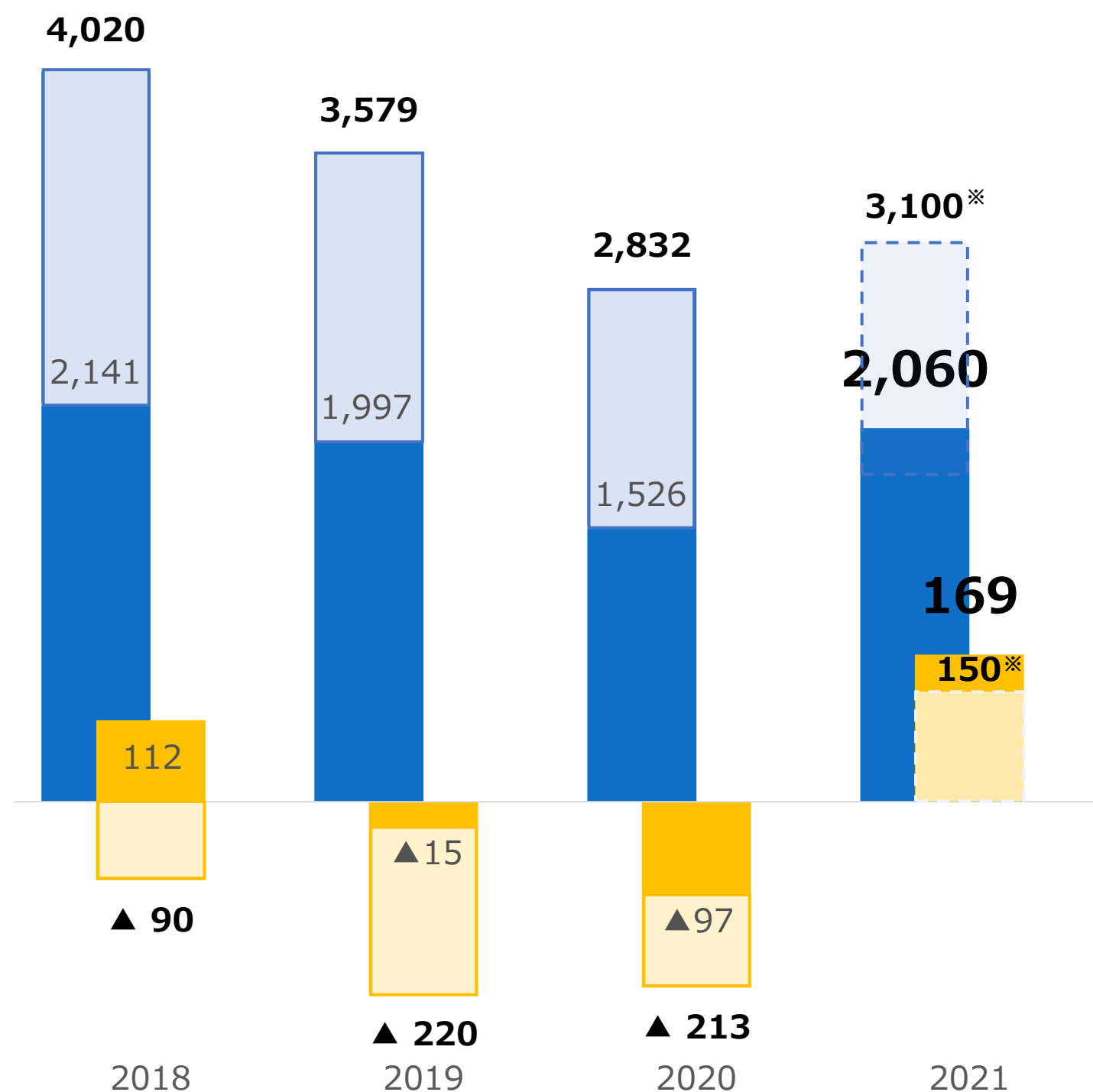
- 外食産業は回復傾向を強めたため飲料用ホースの販売が増加
- 農業、インフラ分野はコロナ禍においても好調であったことに加え、製造業の需要も持ち直したため販売が増加
- DIY需要、巣ごもり需要は引き続き底堅く推移
「ペイントスプレーホース」、「Spaホース」の販売が高水準維持

欧州事業の概況

■売上高・営業利益

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



(※は通期予想値)

売上高
20.6億円

(前年同期比 35.0%増)

営業利益
1.69億円

(前年同期は97百万円の営業損失)

収益面の動向

- 前年度に実施した減損処理およびスペイン子会社の固定費削減により収益性改善が黒字化に寄与

2021年度 通期見通し

■ 通期業績予想数値について

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、すでに親会社株主に帰属する四半期純利益が通期予想に達しておりますが、経済活動の再開に伴う世界的な原材料の供給逼迫および国際物流の混乱、とりわけ北米や中国における人件費、運送費の高騰など、下期以降に影響する事象を精査しております。そのため、通期連結業績予想は現時点では前回発表の通りとしておりますが、予想数値が確定次第、速やかに開示いたします。

連結業績予想



(単位：百万円)

項目		2020年12月期 (実績)	2021年12月期 (予想)	前年比増減 (金額)	
					前年比(%)
売上高		49,953	52,000	2,047	4.1
営業利益		2,898	2,800	▲ 98	△ 3.4
経常利益		3,319	3,000	▲ 319	△ 9.6
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,444	1,700	256	17.7
設備投資額		2,130	2,200	70	3.3
減価償却費		1,455	1,200	▲ 255	▲ 17.5
ROE		6.4%	6.6%		
ROA		7.2%	6.1%		
為替レート (期中平均)	USドル	106.43	104.00		
	カナダドル	79.27	80.00		
	ユーロ	121.97	121.00		
	中国元	15.42	15.50		

セグメント別 業績予想



(単位：百万円)

事業セグメント	項目	2020年12月期 通期実績	2021年12月期 通期予想	増減額	前年比 (%)
アジア事業	売上高	25,710	25,600	▲ 110	▲ 0.4
	営業利益	2,866	2,512	▲ 354	▲ 12.4
	産業資材	売上高	15,076	▲ 576	▲ 3.8
		営業利益	2,128	▲ 388	▲ 18.2
	スポーツ 建設資材	売上高	10,043	357	3.6
		営業利益	883	▲ 113	▲ 12.8
	その他	売上高	590	110	18.6
		営業利益	▲ 145	147	-
北米事業	売上高	21,410	23,300	1,890	8.8
	営業利益	1,140	1,200	60	5.3
欧州事業	売上高	2,832	3,100	268	9.5
	営業利益	▲ 213	150	363	-
連結	売上高	49,953	52,000	2,047	4.1
	営業利益	2,898	2,800	▲ 98	▲ 3.4

※全社費用は上記に表示しておりません

事業戦略

クリヤマグループ戦略

グローバル事業戦略

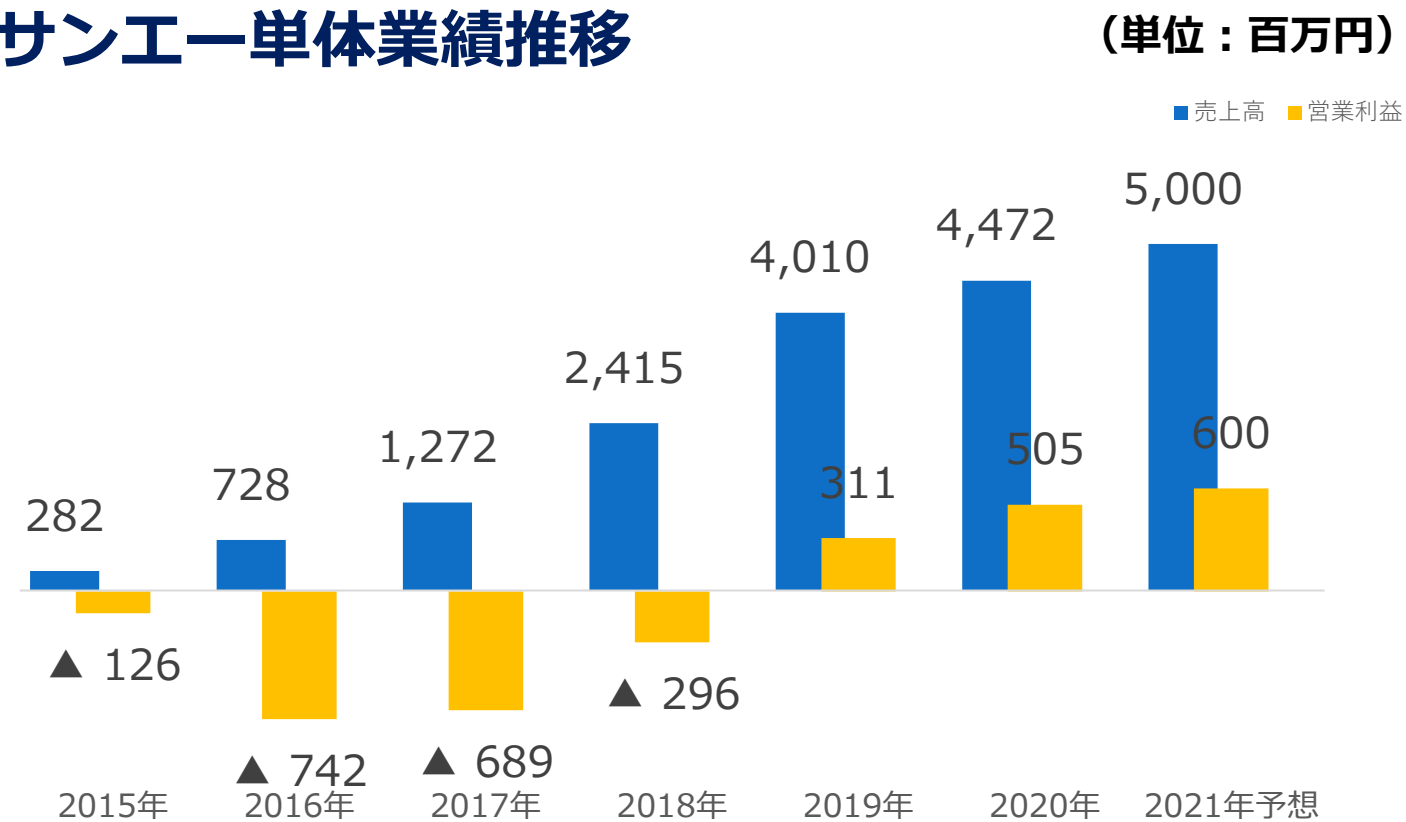
- 日本の建機・農機のグローバルTier1サプライヤーとしての地位を確立する
- 産業用総合ホースメーカーとして品質と信頼のNo.1ブランドを目指す
- 現地生産・現地販売を推進し、各国の経済発展に貢献する

■日本の建機・農機のグローバルTier1サプライヤーとしての地位を確立する



(株)サンエーのセンサー事業が業績拡大に貢献

(株)サンエー単体業績推移



- ・ 排ガス規制強化に伴う尿素水識別センサーのシェア拡大により2019年度より黒字化
- ・ 今期は買収以降、過去最高収益を見込むも、22年度以降は欧州乗用車向け供給が収束の見込み
- ・ 既存ノウハウを活かした次世代型センサーの開発によるシェア拡大と新規市場参入を推進

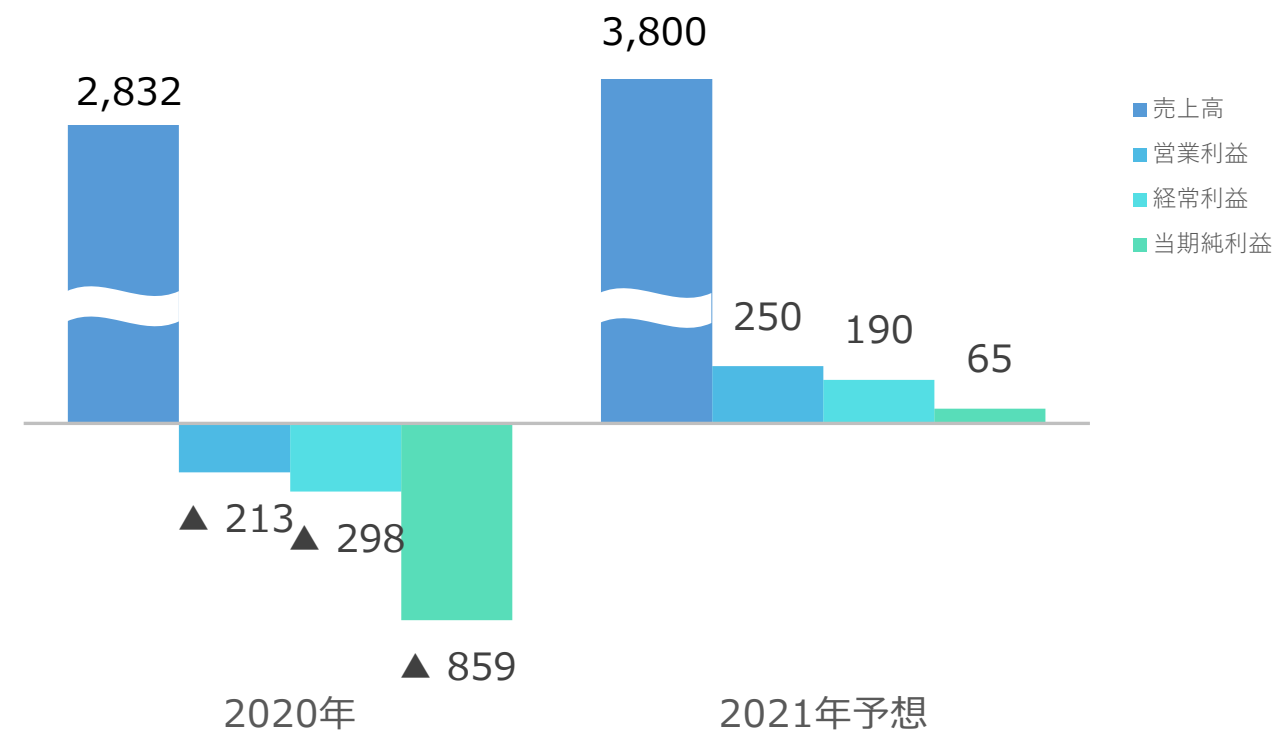
■ 産業用総合ホースメーカーとして品質と信頼のNo.1 ブランドを目指す



欧州事業の収益性改善に注力、今期は黒字化の見込み

欧州事業の業績対比

(単位：百万円)



- 2020年の減損処理に加え、更なる生産効率向上による収益力改善を継続
- 北米事業との連携強化による欧州市場の飲料ホース販路拡大を推進

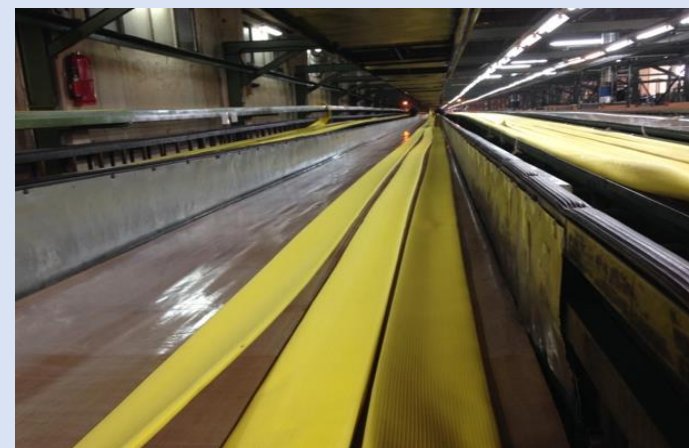
■ 現地生産・現地販売を推進し、各国の経済発展に貢献する



ホース事業の生産能力増強を見据えた設備投資を継続



ミシガン工場 (PHP社)



スペイン工場 (Tipsa社)

- ペイントスプレーホース増産のためアメリカPHP社の製造ラインを増設
- 屋外プールに使用するSpaホース増産のためカナダKCI社に製造ラインを増設
- レイフラットホース増産のためスペインTipsa社の製造ラインを増設

クリヤマグループ戦略

国内事業戦略

- スポーツ施設や商業施設などの総合床材メーカーとしてのNo.1ブランドを目指す
- スポーツアパレル“モンチュラ”の販売拡大を通じて健康社会の発展に貢献する

■ スポーツ施設や商業施設などの総合床材メーカーとしての No.1ブランドを目指す



市場を横断した包括的な需要の取り込み



- 安全対策として駅とホームの隙間を埋める「スキマモール」の納入シェア拡大
- 抗菌性を備えたインドア向け床材「タラフレックス」を開発、大型スポーツアリーナをはじめ防災拠点・文教施設への展開を加速

- スポーツアパレル“モンチュラ”の販売拡大を通じて健康社会の発展に貢献する



Eコマースとリアル店舗の連携強化



- Eコマース事業拡大のため、保管倉庫を移管、配送時間短縮をはじめとしたデリバリー体制を整備
- WEB、SNSを通じた広告活動、店舗での山岳ガイドイベントなど、ブランド認知度の向上を推進

- 1 通期業績予想は確定次第、速やかに開示**
- 2 アジア、北米、欧州の全事業セグメントで増収増益**
- 3 (株)サンエーは売上、利益ともに過去最高の見込み**
- 4 欧州事業は収益性改善により黒字化の見込み**



クリヤマホールディングス株式会社 社長室

〒540-6325

大阪市中中央区城見1丁目3番7号

松下IMPビル25階

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL : 06-6910-7023

FAX : 06-6910-7035

<https://www.kuriyama-holdings.com>



補足資料

補足資料1 要約貸借対照表



(単位：百万円)

資産の部		2020年 12月	2021年 6月	増減額
	現金及び預金	7,310	7,879	569
	売上債権	8,991	10,403	1,412
	たな卸資産	11,492	11,558	66
	その他	734	683	△ 51
流動資産合計		28,527	30,525	1,998
	有形固定資産	10,192	10,684	492
	無形固定資産	618	584	△ 34
	投資その他の資産	6,582	7,200	618
固定資産合計		17,393	18,470	1,077
資産合計		45,921	48,995	3,074

【流動資産】

- 北米・欧州・産業資材事業好調に伴い、現預金・売上債権増加

【有形固定資産】

- 北米事業のホース生産ライン増設による有形固定資産増加

【投資その他の資産】

- 投資有価証券の時価増加。(128百万円)
- 関連会社の事業好調による関係会社株式及び出資金の増加(321百万円)

補足資料2 要約貸借対照表



(単位：百万円)

負債・純資産の部		2020年 12月	2021年 6月	増減額
流動負債	仕入債務	7,081	8,279	1,198
	短期借入金(1年内長借含)	5,368	4,730	△ 638
	その他	2,367	2,812	445
流動負債合計		14,816	15,822	1,006
固定負債	長期借入金	6,190	5,113	△ 1,077
	その他	2,205	2,305	100
固定負債合計		8,395	7,419	△ 976
負債合計		23,211	23,241	30
株主資本合計		23,030	24,589	1,559
その他包括利益合計		△ 352	1,130	1,482
非支配株主持分		32	33	1
純資産合計		22,709	25,753	3,044
負債・純資産合計		45,921	48,995	3,074

【流動負債】

- 北米・欧州・産業資材事業の売上増加に伴う仕入債務増加

【固定負債】

- 長期借入金返済による減少

【株主資本】

- 利益剰余金（1,543百万円）の増加

【その他包括利益】

- 円安の影響による為替換算調整勘定（1,354百万円）の増加

補足資料3 キャッシュフロー等



(単位：百万円)

	2020年 6月	2021年 6月	増減額
営業CF	3,367	3,067	△ 300
投資CF	△ 1,210	△ 625	585
FCF	2,157	2,441	284
財務CF	△ 50	△ 2,271	△ 2,221
現金及び現金同等物	7,785	7,878	93
設備投資額	1,205	622	△ 583
減価償却費	660	587	△ 73
のれん償却	68	2	△ 66

【営業CF】

- 税金等調整前四半期純利益(2,645百万円)
- 売上債権の増加額(1,022百万円)
- 仕入債務の増加額 (908百万円)
- たな卸資産の減少額 (467百万円)

【投資CF】

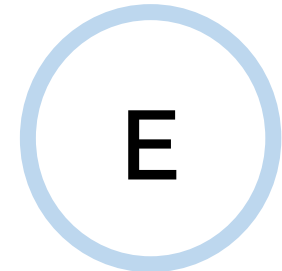
- 有形固定資産の取得による支出 (606百万円)

【財務CF】

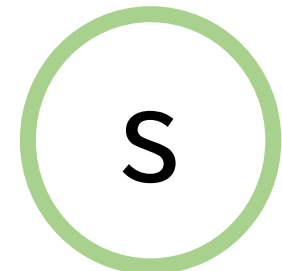
- 短期借入金の減少額 (569百万円)
- 長期借入れによる収入 (283百万円)
- 長期借入金の返済による支出 (1,529百万円)
- 配当金の支払額 (414百万円)

クリヤマグループの持続的な成長を目指し、事業活動を通じたESG課題への取り組みを強化

クリヤマグループの重要課題(マテリアリティ)



- 温室効果ガスや大気汚染物質
- 循環型社会
- 廃棄物の再利用、排出量削減



- 品質管理、品質保証による安全性
- 持続可能なサプライチェーン
- 研究開発・商品検査体制
- 防災・減災対策推進



- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- コンプライアンス



持続可能な社会の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ESG・SDGsへの取り組み

- クリヤマグループは事業活動を通じてSDGsに関連した取り組みを実施
- さまざまな社会課題の解決に貢献し、経済的価値を創出しながら持続的に成長

事業活動と関連するSDGs

事業別	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう
産業資材事業		●	●				●	●	●		●	●	●				●
建設資材											●	●	●		●		
スポーツ施設資材			●			●					●	●	●				●
アパレル事業															●		
ダスコン関連商品			●			●											
北米事業		●															
欧州事業		●															

ESG・SDGsへの取り組み



気候変動と大気汚染による影響軽減に向け、事業を通じて地球温暖化や脱炭素の課題に取り組みます

排気ガスを浄化し大気汚染対策に貢献する「尿素SCRシステム」



スポーツ振興を通して人々を支え、健康社会への発展に貢献します

競技施設から防災拠点まで多目的機能をもつ弾性スポーツシート「タラフレックス」

国内のスポーツ振興に貢献する「日本トップリーグ連携機構（JTL）」をサポート

高機能で快適「MONTURA」ウェア、シューズ等の販売や、スポーツ教室の開催サポート等による健康社会への貢献



人々のニーズに配慮し、公共交通機関への安全なアクセスを実現するサステナブルな商品を開発、提供しています

視覚障がい者を守る点字タイル、公共交通機関での転倒事故やけがを防ぐノンスリップタイル

駅ホームでの転落事故防止のため、電鉄会社と共同開発した段差・隙間対策商品「スキマモール」



新素材の活用や生産技術向上により、環境負荷低減商品の開発を強化します

NSF（USA）に認定された人体に適した飲料用ホース等の製造販売



ESG・SDGsへの取り組み



廃棄物を資源として再利用、または適正に処分することで循環型社会に貢献します

セラミックタイルの廃材をリサイクル、都市型洪水やヒートアイランド現象にも貢献する「アクアスルー」

ホースの製造工程で発生するスクラップの削減と再利用により産業廃棄物量を削減

ホース製造工程で、工場での排水は浄化システムを採用し、外部機関でシステム性能を監視

環境と身体の安全に配慮した人工芝「モントーフ」・「リモンターフ」

製造した消防用ノズルの検査において、工場での水の使用量を削減するため、テストで毎回使用される水は循環型回路を採用

セラミックタイル施工におけるCO2 排出量低減に配慮した低炭素モルタルの使用

環境に配慮したマテリアルでの高機能なMONTURAウェアの販売



工場排水の浄化システム



この資料は投資家の参考に資するため、クリヤマホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

今後新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。